

## 臨床研究に関する公開情報

横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として様々な臨床研究を行なっております。今回下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、患者さまご自身のカルテ情報や検体・試料を研究に利用されることをご了承できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究にご了承できないことをお申し出なされた場合でも、患者さまの診療に不利益が生じることは一切ございません。

### [研究課題名]

蘇生における非透視下での大腿動脈へのシース留置の合併症についての研究

[研究責任者] 横須賀共済病院、救急科医師、道下貴弘

### [研究の概要]

大腿動脈へのシース留置は蘇生行為の処置として一般的です。大腿動脈へのシース留置に伴う合併症は 1.5-9.0%程度と報告されており、超音波の使用、透視下での実施で合併症を減らせることが報告されています。過去の先行研究は心臓カテーテル検査等の循環器系での研究が多く、透視を使用できない救急外来でのシース留置の合併症の研究報告はありません。今回救急外来における非透視下での大腿動脈へのシース留置の合併症について研究を行います。CTの読影にて「シース」、「ECMO」、「REBOA」のいずれかを含むCTを電子診療録から抽出し、その中で救急科が介入し、非透視下でシースを留置した症例を対象とします。対象症例のシース留置に伴う合併症、シースの太さ、患者背景を電子診療録から収集し、CTにてシースの血管刺入位置、皮膚刺入位置を計測します。対象の合併症発生率を測定し、合併症が発生した群と発生しなかった群に分けて合併症のリスク因子を研究します。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

救急科が介入し、非透視下でシースを留置した後にCTを施行した患者さま

#### ●研究に用いるカルテ情報

カルテ情報：

CT データ、診断名、年齢、性別、身長、体重、シースの合併症の有無、シースの太さ

[研究の期間] 横須賀共済病院 臨床研究倫理委員会 審査承認後から

2029年3月31日まで(対象となる症例は2024年から過去10年を予定しています)

[問い合わせ先]

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

電話 046-822-2710 (代表) (平日 午前8時30分から午後17時15分まで)

FAX 046-822-9139

研究責任者：救急科 医師 道下貴弘

\*お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。  
あらかじめご了承ください。

以上